

Osaka Shin-Ai Megumikai

大阪信愛女学院短期大学同窓会 〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30 TEL 06-6939-4391



ご挨拶 理事長・小学校校長 岩熊 美奈子（初等教育学科1期）

めぐみ会の皆様には、いつも信愛を温かく見守り、惜しみないご支援とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

今年度から理事長を拝命いたしました。私自身、器でもなく、力量もありませんが、多くの方々の支えとご協力の中で、誠心誠意、力いっぱい務めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

世の中はめまぐるしく変化し、進歩しています。教育の現場も同じです。信愛も時代と共に変わっていくのは当然のことでしょう。しかし、目先だけの改革ではなく、建学の精神の中で、知恵と力と心を結集して、社会の変化に対応できる信愛教育を構築しなければなりません。改革には勇気がいりますが、信愛教育の根幹である一人ひとりと真剣に温かく寄り添い、手塩にかける教育方法を堅持し、変える事、変えてはいけないことを賢明に見極めながら進んでいかなければなりません。

笑顔あふれる学院、自分の輝きだけでなく、他者を大切に、他者を照らす光となって世界へ羽ばたいてくれることを願い続け、誇りと信念を持って信愛教育を進めてまいります。今後とも温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

社会の要請に応じて2018年度から、小学校を共学にいたします。お子様、お孫様の入学をお待ちしています。更に、小学校の共学化を含めた学校改革の一環として、2018年度から学校名を大阪信愛学院に変更いたします。尚、校名が変わっても、中高等学校や短期大学が共学になるものではありません。

めぐみ会の皆様の上に 神様の祝福が豊かに注がれますように、皆様のご健康とお幸せをお祈り申し上げます。



ごあいさつ めぐみ会会長 楠本 光子（家政科4期）

めぐみ会会員の皆様お元気ですか。

昨今の異常気象で、7月には九州北部・東北地方が豪雨に、8月には台風による災害に見舞われましたが、卒業生の皆様に被害はございませんでしたか。

今年は、昨年の久留米信愛、熊本信愛に引き続き、和歌山信愛に姉妹校訪問いたしました。同じ関西にありながらなかなか実現しませんでした。森田理事長様のお誘いのおかげでようやく伺いすることが出来ました。

昨年の楓祭には、数十年ぶりに初めて参加いただいた卒業生も相当おられ、同窓会室も満席状態でうれしい集いとなりました。魅力ある同窓会活動になるよう役員一同頑張っておりますが、ご満足いただけるにはまだまだです。どうか皆様にもご意見ご要望をお寄せいただき、年齢を超えた交流が出来ればと考えております。

楓祭には、お友だち誘い合って、新築なった小学校等、学院見学を兼ねてお出かけ頂ければ幸いです。



日時：2017年10月29日（日）
場所：大阪信愛女学院短期大学 城東キャンパス
時間：午前10時～午後3時



ご挨拶 めぐみ会顧問 高坂 祐夫（短期大学学長）

皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうかお伺い致します。日頃は何かと本学にご尽力をたまわり心から感謝申し上げます。

さて、短大の現況をご報告をします。Sr.縄田紳子先生が理事長をご退任されました。これからは学院長・教授として学院・短大の発展のご指導を戴きます。なお、新理事長にSr.岩熊美奈子先生がご就任です。29年度、子ども教育学科80余名、看護学科90余名の入学者を迎え、両学科ともにキャンパスは学生たちの熱気で満ちあふれています。本年も両学科に多くの社会人が入学されました。両学科ともに地域社会に有用な人材を送り出すことが使命であるという信念のもとに教職員一丸となって教育に邁進しています。これからも18歳学生にも過ごしよい、また、大人に選んで頂ける短大として、教育環境の整備に努力して参ります。

めぐみ会々員の皆様、同窓会やお友達の小さな集まり、卒後訪問等、様々な機会に学院・短大の施設を提供しています。現在の短大をご覧いただくよい機会として大歓迎です。

会員の皆様のご健康と益々のご活躍を心から祈念し、ご挨拶と致します。



子ども教育学科の今 子ども教育学科長 奥田 昌代

めぐみ会の皆さま、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。いつも、本学を気にかけて下さり本当にありがとうございます。

子ども教育学科は、現代社会に役立つ多くの免許・資格の取れる学科です。幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、保育士資格の3つの免許・資格が取得できる上に、「こども音楽療育士資格」「園芸療法士資格」や「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級」も半数以上が取得するなど、学生の資格取得志向も益々強くなってきています。

そんな中、高校新卒者のみならず、これらの学びに対して様々な希望・目的を持った人たちが学生として、あるいは科目等履修生として来学しています。「学びたい時がその時!!」ということで、20年ほど前から生涯学習ということが喧しく言われるようになり全国的に社会人学生も増えてきてはいましたが、今では様々な社会経験、人生経験も積んだ人たちが普通に学生として学び、卒業後は取得した免許・資格等を基に再び社会に貢献してゆくということが当たり前になってきました。

本学科も、近年の保育士不足解消という社会要請に応えた社会人特別入試を行うようになってから、今では在学生の約15%が社会人学生となっています。そして目的意識も意欲も高いその方々がいわゆる18歳学生に非常に良い影響を与え、またお互いに刺激し合って充実した実り豊かな学生生活を送っている姿を見ると、本当に良い時代になったと思います。

卒業生の皆さまも、人生折に触れ様々な学びの実践をしておられることと思いますが、広く女性の学びの場としての本学子ども教育学科の今にもお心を留めていただけると幸いです。



看護学科の近況 看護学科長 高井 明德

めぐみ会の皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は短期大学の教育にご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。

看護学科も早9年目を迎えました。この春、6期生が卒業し、4月には9期生が入学しました。現在、約400名もの卒業生が、社会で活躍しています。主な就職先は京阪神地区で、京阪神地区の多くの大病院に就職して、がんばっています。病院に行って、知らず知らずの内に卒業生にお世話になっていることも少なからずあるかもしれません。数年前のことですが、就職先の信愛生の評価の上位に「優しさや思いやりがある」というのがありました。信愛らしい評価をいただいて、うれしい気持ちになりました。心からしっかりと患者さんをみてる看護師がいれば、信愛出身に間違いなし、というようなことになっていけばと楽しみにしています。

受験生に信愛看護学科の良さを知ってもらう機会としてオープンキャンパス（OC）がありますが、在学生もスタッフとして加わり好評を得ています。受験生の質問にもしっかりと答え、受験生もそのような姿を見て、信愛で学びたいとの思いを強めるようです。看護学科の様子を見ようとお思いの皆様、ぜひOCにお越しください。

卒業生の皆様には、信愛看護学科の魅力を知っていただき、ご支援をいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

和歌山信愛を訪問しました



昨年、姉妹校である久留米と熊本の信愛を訪問しましたが、今年は和歌山信愛をお訪ねしました。6月27日、梅雨の曇り空の下、メンバーの運転する車でGO！

和歌山城のおひざ元に和歌山信愛中学・高等学校が在ります。2013年に新校舎が竣工したとの事なので今回は短期大学の方ではなく、中高の方にお邪魔しました。

森田理事長様が出迎えてくださり、理事長室へ。そこで校舎竣工までの様々なエピソードを伺いましたが、そこには英知と勇断が溢れていてとても感服しました。

森田理事長様自ら案内をして下さった新校舎は、和歌山県産の木がふんだんに使われていて、全てにおいて温もりとゆったりとした空間が素晴らしい学び舎。玄関ホールにある降誕場面のステンドグラスは茶系のシックな色合い。昨今薄っぺらな色ガラスでステンドグラス風にしつらえたものが多い中、本物の風格を備えていながら、あくまでも優しく癒されるステンドグラスでした。廊下は幅広く、テーブルと可愛い椅子が置かれていて、そこかしこで女子あるあるトークと笑い声が聞こえてくるよう。教室の入り口に掲げられたピクトグラム（絵文字）がとてもお洒落！

教科を教えるだけではなく、心と感性を育てていращやることが随所で感じられました。

役員メンバーは口を揃えて「もう一度高校生活に戻りたい！」

屋上のマリア像に見守られながら、生徒たちは登下校をしているのですね。私たちもマリア像に見送られて和歌山信愛を後にしました。

（多湖・記）



中・高 校舎全景



後列 川島 森田 増田 楠本 多湖
前列 Sr.森田理事長

大阪信愛女学院45年卒業生同窓会

今回初めて奈良での開催となりました。参加者は19名と少な目でしたが、最遠者宮崎県からの参加者もありました。

奈良市在住の種谷睦子先生をお招きしました。現役のマリンバ奏者としてご活躍の先生は、パワフルで若々しく先生と生徒の6歳の年の差は全く感じられませんでした。

懐かしく話が弾み、現況の紹介をしました。「だてに67年生きてきたのではない」という話を聞き、とても楽しく、私も頑張ろうという気持ちになりました。幼稚園退職後も地域のために活躍されておられる方が多数おられました。あっと言う間の4時間でした。次回は兵庫県宝塚での開催が決まり、また楽しみが出来ました。最後に奈良町を散策し、お開きとなりました。

中西 由紀子（保育科 1970年卒業）



卒業生からのお便り

私の著作 小河 洋子（家政学科 1979年卒業）

卒業後、「能開センター」にて、国語科のテキスト、テストなどの作問を手がける。

同時期に児童文学に興味を持ち、当時の朝日カルチャーセンターで「童話を書く」の講座を受講し、小説を書き始める。

時代小説「しずり雪」で「第三回長塚節文学賞短編部門大賞」を受賞する。

筆名を「安住洋子」とし執筆活動始める。

月刊「小説新潮」「波」などで数十回掲載単行本、文庫本を出版。

「しずり雪」（小学館）

「夜半の綺羅星」（小学館）

「日無坂」（新潮社）

「いさご波」（新潮社）

「春告坂～小石川診療記～」(新潮社) 同作が「第十八回中山義秀文学賞」最終候補作となる。

「遥かなる城沼」（小学館）

日本文藝家協会編纂「代表作時代小説」に3回掲載される。

今冬、「御仏のかんばせ」を小学館から上梓予定。

日本文藝家協会会員。

小説の源となっているところは、在学時代に大阪信愛女学院で培われたものなので、卒業後今に至りましても感謝しています。

卒業後の活動 中溝 直子（旧姓 松村）（初等教育学科 1984年卒業）

卒業して30余年、ずいぶん経ったものだ感慨深く感じています。新卒でカトリック系幼稚園にお世話になり、未熟ながらも一生懸命かわいい子どもたちと3年間過ごしました。結婚により退職はしましたが、子どもと関わるお仕事をずっとしていたように思います。8年前、新卒でお世話になった幼稚園と再びのご縁をいただき、現在もかわいい子どもたちとの日々を、楽しんでます。

以前とは社会も家庭も環境が変わり、保育内容もずいぶん変化しました。そんな中で、今だからこそ子どもたちから教えてもらうこともたくさんあります。その一つは、「子どもたちは私たちが思っているほど子ども

ではない」という事。そして「小さな体の中で多くのことを考え、自分でやろうとしている」という事です。その力と吸収力の素晴らしさに感動しています。子どもたちの意欲と笑顔から、パワーをもらう日々幸せだと感じています。

近年になり、信愛の同級生と頻繁に連絡を取り合うようになりました。多くの方が、子どもと関わる仕事をしていることに驚きました。信愛で学んだ心が、微力ながら今でも社会で必要とされ、活躍していることに卒業生として誇りに思います。そして当時のご指導に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も大阪信愛女学院の発展をお祈りしています。

近況 佐々木 彩乃（看護学科 2015年卒業）

私は現在精神科単科病院の亜急性期病棟で働き、3年目になります。精神科領域は奥が深く、日々学びの連続です。同じ疾患名でも一人ひとり症状や経過、治療方法が異なり、患者様に合った声かけや接し方の工夫が必要になります。そのため判断に迷う時や不安に感じる時もあり、先輩方に相談して学ばせて頂いています。

また急変による複数名対応が必要な時は、チームを超え協力することが重要であるため、常に周囲を見ながら声をかけ合い自分ができることを積極的に行うよ

うに心がけています。

忙しい毎日ですが、患者様から「話を聴いてくれてありがとう」と言われたり、徐々に症状が落ち着いてこれら笑顔で会話が出来るようになった時などは一緒に嬉しさを共有し、やりがいを感じられます。これからも患者様と信頼関係を築きながら、患者様の思いを大切にした看護の在り方を模索しながら仕事に励んでいきたいと思っています。

収入			
科目	概要	2015年度	2016年度
前年度繰越金		5,292,695	3,991,242
入会費	2015年度入学生より卒業期に納入	0	890,000
イベント売り上げ		0	64,560
利息		4,519	3,790
合 計		5,297,214	4,949,592
支出			
科目	概要	2015年度	2016年度
通信費	会報送付（'15年7,821通'16年7,804通）、案内送付等	423,540	438,288
印刷費	会報・封筒・ハガキ等印刷、発送作業代、ホームページ管理費	593,584	822,742
事務費	残高証明書手数料、文具、プリンタ購入、記念品手揚げ袋代等	26,202	17,903
慶弔費	卒業式・戴帽式・演奏会御祝、弔電・供花代、'16年熊本信愛義援金	60,404	247,628
交通費	役員会出席者分	30,780	64,100
役員会費	飲料等	0	591
新入生歓迎会費	シャチハタボールペン（'15年159本、'16年164本）	158,836	152,323
支払い手数料	各種振込手数料	2,916	4,320
短大祭催物費	催物材料代	9,710	26,387
光熱費	定額24,000円で2016年度分に2015年度分含む	0	48,000
次年度繰越金		3,991,242	3,127,310
合 計		5,297,214	4,949,592
繰越金内訳			
科目	2014年度	2015年度	2016年度
現金	134,700	137,750	33,399
普通預金	5,157,995	3,853,492	3,093,911
計	5,292,695	3,991,242	3,127,310
積立金	15,000,000	15,000,000	15,000,000
合 計	20,292,695	18,991,242	18,127,310

(単位：円)

※会計監査の結果、上記の通り承認いただいております

2016年度 ご退職 お世話になった先生方

岩井 秀昭 先生 (子ども教育学科)

二井 悠希 先生 (看護学科)

豊島 めぐみ 先生 (看護学科)

田中 順子 先生 (看護学科)

田中 千寿子 先生 (看護学科)

木村 智恵 先生 (看護学科)

～訃報～

昨年の会報で「107歳でお元気です」とお知らせいたしました森重定子先生が、本年 1 月10日に108才で天国に召されました。

和裁の先生らしく、ご自分で仏衣を縫って用意されておられたとのことです。

ご遺族からは先生が広島で女学校の先生時代に学生オーケストラに入ってサキソフォンを吹いておられた頃の写真と共に、卒業生の方々からお心にかけて頂いたことへの感謝のお手紙をいただきました。

先生のご冥福をお祈りいたします。





2017 楓祭 10月29日(日) 10時～15時

毎年恒例の「楓祭」、今年も302教室をめぐみ会のために開放していただきます。ミニミニ・クラス会やお友達との待ち合わせに、どうぞ、お気軽にお立ちよりください。お茶のご用意もしています。

お子さま連れでも大丈夫！安心しておしゃべりしてください。小さなお子さまのために、絵本などもご用意してお待ちしています。

物品販売もいたします

役員手作りの「ポケットティッシュケース」「秘密のケンミンSHOW」で話題になった「レインボーラムネ」などその他、何があるかお楽しみに！



看護学科同窓会のご案内

日時：10月29日(日)
午前11時～12時
場所：城東学舎302教室

参加申し込み不要。
母校で近況を語り合いませんか？
皆さんのお越しをお待ちしております。



公開講座のお知らせ

- 園芸療法講座 2017年10月実施予定
※9月頃に本学ホームページでご案内
- 公開講座 『認知症の予防と早期発見』
関西医科大学名誉教授・本学客員教授 玄番 央恵先生
2017年10/25(水) 午後2時40分～午後4時(終了予定)
(於：本学講堂)
- 公開講座 『俳句でイエス・キリストを知る(仮題)』
カトリック大阪大司教区 トマス・アキノナス前田 万葉大司教
2018年1/24(水) 午後2時40分～午後4時(終了予定)
(於：本学講堂)

小学校からのお知らせ



2018年度から、
男女共学になります。



【城東キャンパス(子ども教育学科)アクセス】

〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30 TEL.06-6939-4391

○地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見」①出口から北へ徒歩15分○地下鉄今里筋線「新森古市」①出口から南へ徒歩5分(京阪「関目」から地下鉄今里筋線「関目成育」は隣接)○近鉄「布施」から市バス86乗車、「緑一丁目中」下車○阪急京都線「上新庄」から市バス86乗車、「緑一丁目中」下車

【鶴見キャンパス(看護学科 専門教育学舎)アクセス】

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見6-2-28 TEL.06-6180-1041

○地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見」③出口から徒歩10分○地下鉄今里筋線「新森古市」①出口から徒歩10分○近鉄「布施」から市バス86乗車、「鶴見6丁目」下車○阪急京都線「上新庄」から市バス86乗車、「鶴見6丁目」下車

両キャンパス共に、駐車場に限りがありますので、お車でのご越しはご遠慮ください。

編集後記

昨年は森重先生のお元気な様子をお知らせすることが出来ましたのに、この度は計報をお届けしなかったことがとても残念です。6月に和歌山信愛を訪問させて頂き、校舎の素晴らしさに感動しました。お忙しい中、理事長様はじめ先生方、卒業生の皆さまにご寄稿いただきまして、豊かな誌面になりましたことを感謝申し上げます。同封の葉書にご意見ご感想などお書き下さいませ。ご一緒に会報を作ってまいりましょう。よろしくお願いいたします。